【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公開番号】特開2011-38775(P2011-38775A)
【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)
【年通号数】公開・登録公報2011-008
【出願番号】特願2009-183358(P2009-183358)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｃ　21/00　(2006.01)
Ｇ０８Ｇ　 1/005　(2006.01)
Ｇ０１Ｃ　21/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｃ　21/00　Ｚ
Ｇ０８Ｇ　 1/005
Ｇ０１Ｃ　21/00　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成23年9月5日(2011.9.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ネットワークを介して接続される携帯端末装置と経路探索サーバとを備え、携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索システムにおいて、
前記携帯端末装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、
前記経路探索システムは、
前記アプリケーションプログラムを終了するための停止条件が成立するか否かの判定を行い、停止条件が成立する場合、前記携帯端末装置の前記アプリケーションプログラムを終了する停止判定手段と、
前記携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を、前記経路案内の情報に基づいて算出する通知基準算出手段と、
前記経路案内を再開させるための条件が成立したか否かの判定を行う通知判定手段と、
前記経路案内を再開させるための条件が成立すると、案内再開通知を前記携帯端末装置に送信する再開通知手段と、を備え、
前記携帯端末装置は、前記案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開することを特徴とする経路探索システム。
【請求項２】
前記停止判定手段は、前記案内経路の情報に基づいて、経路が所定の距離または所要時間の間、進行方向の変更がなく道なりに進行し経路案内を必要としない場合に、停止条件の成立を判定することを特徴とする請求項１に記載の経路探索システム。
【請求項３】
前記通知基準算出手段は、前記案内経路の情報に基づいて、経路案内を再開すべき時刻を通知基準として算出し、前記通知判定手段は、現在時刻と前記通知基準として算出した

時刻とを比較して案内再開通知の送信可否を判定することを特徴とする請求項１または請求項２に記載の経路探索システム。
【請求項４】
前記通知基準算出手段は、前記案内経路の情報に基づいて、経路案内を再開すべき場所を通知基準として算出し、前記通知判定手段は、前記携帯端末装置から受信する位置情報と前記通知基準として算出した位置情報とを比較して案内再開通知の送信可否を判定することを特徴とする請求項１または請求項２に記載の経路探索システム。
【請求項５】
前記停止判定手段は、前記案内経路に交通機関を用いた経路区間が含まれる場合には、前記交通機関を利用する経路区間を停止条件が成立する区間として判定することを特徴とする請求項１に記載の経路探索システム。
【請求項６】
前記通知基準算出手段は、前記案内経路の情報に基づいて、経路案内を再開すべき時刻を通知基準として算出し、該時刻は、少なくとも徒歩経路区間開始地点の直前であって、前記交通機関の交通手段を降車する時刻を算出し、前記通知判定手段は、現在時刻と前記通知基準として算出した時刻とを比較して案内再開通知の送信可否を判定することを特徴とする請求項５に記載の経路探索システム。
【請求項７】
前記通知基準算出手段は、前記案内経路の情報に基づいて、経路案内を再開すべき場所として、前記交通期間の交通手段を降車する駅を示す場所を通知基準として算出し、前記通知判定手段は前記携帯端末装置から受信した現在位置情報と通知基準として算出した場所の位置情報とを比較して案内再開通知の送信可否を判定することを特徴とする請求項５に記載の経路探索システム。
【請求項８】
前記経路探索サーバから受信する案内経路の情報には、経路案内が不用な区間に経路案内が不用であることを示すフラグ情報が付加され、前記停止判定手段は前記フラグ情報に基づいて停止条件の成立を判定することを特徴とする請求項１に記載の経路探索システム。
【請求項９】
前記経路探索システムは携帯端末装置の移動履歴を記憶する記憶手段を備え、前記移動履歴から、移動回数が所定回数以上の経路区間を経路案内の必要がない経路区間と判定し、前記経路区間に経路案内が不用であることを示すフラグ情報を付加することを特徴とする請求項８に記載の経路探索システム。
【請求項１０】
携帯端末装置とネットワークを介して接続され、携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索サーバにおいて、
前記携帯端末装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、該アプリケーションプログラムを終了するための停止判定手段と通知要求手段とを備え、前記停止判定手段が前記案内経路の情報に基づいて停止条件が成立したと判定した場合、前記通知要求手段は前記経路探索サーバに経路案内を再開するための経路案内再開情報を含む再開通知要求を送信し、前記経路探索サーバから受信した案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開する携帯端末装置であって、
前記経路探索サーバは、前記携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を算出する通知基準算出手段と通知判定手段と再開通知手段とを備え、
前記経路探索サーバは、前記携帯端末装置から再開通知要求を受信すると、前記通知基準算出手段は該当する携帯端末装置の案内経路の情報に基づいて通知基準を算出し、前記通知判定手段は、前記通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立したと判定すると、前記再開通知手段は、前記携帯端末装置にネットワー

クを介して経路案内再開情報を含む案内再開通知を送信することを特徴とする経路探索サーバ。
【請求項１１】
携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索サーバにネットワークを介して接続される携帯端末装置において、
前記経路探索サーバは、通知判定手段と再開通知手段とを備え、前記携帯端末装置から再開通知要求を受信すると、前記通知判定手段は、通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立したと判定すると、前記再開通知手段は、前記携帯端末装置にネットワークを介して経路案内再開情報を含む案内再開通知を送信する経路探索サーバであって、
前記携帯端末装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、該アプリケーションプログラムを終了するための停止判定手段と通知要求手段と、携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を算出する通知基準算出手段と、を備え、
前記停止判定手段が前記案内経路の情報に基づいて停止条件が成立したと判定した場合、前記通知基準算出手段は該当する携帯端末装置の案内経路の情報に基づいて通知基準を算出し、前記通知要求手段は前記経路探索サーバに経路案内を再開するための経路案内再開情報を含む再開通知要求と、前記通知基準算出手段が算出した通知基準を送信し、前記経路探索サーバから受信した案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開することを特徴とする携帯端末装置。
【請求項１２】
ネットワークを介して接続される携帯端末装置と経路探索サーバとを備え、携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索システムにおける省電力復帰方法において、
前記携帯端末装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、該アプリケーションプログラムを終了するための停止判定手段と通知要求手段とを備え、前記停止判定手段が前記案内経路の情報に基づいて停止条件が成立したと判定した場合、前記通知要求手段は前記経路探索サーバに経路案内を再開するための経路案内再開情報を含む再開通知要求を送信するステップと、前記経路探索サーバから受信した案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開するステップと、を有し、
前記経路探索システムは、前記携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を算出する通知基準算出手段を備え、前記通知基準算出手段は該当する携帯端末装置の案内経路の情報に基づいて通知基準を算出するステップを有し、（端末・サーバどちらでもよい）
前記経路探索サーバは、通知判定手段と再開通知手段とを備え、前記携帯端末装置から再開通知要求を受信すると、前記通知判定手段は、前記通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立したと判定すると、前記再開通知手段は、前記携帯端末装置にネットワークを介して経路案内再開情報を含む案内再開通知を送信するステップを有することを特徴とする経路探索システムにおける省電力復帰方法。
【請求項１３】
経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行うナビゲーション装置において、
前記ナビゲーション装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行するナビゲーション装置であって、該アプリケーションプログラムを終了するための停止判定手段と通知要求手段と、経路案内を再開させるための通知基準を算出する通知基準算出手段と、を備え、
前記停止判定手段が前記案内経路の情報に基づいて停止条件が成立したと判定した場合、前記通知基準算出手段は案内経路の情報に基づいて通知基準を算出し、前記通知要求手

段は前記ナビゲーションのためのアプリケーションプログラムとは異なる、作動中の他のアプリケーションプログラムまたは作動させた他のアプリケーションプログラムに、経路案内を再開するための経路案内再開情報を含む再開通知要求を引き継ぎ、該他のアプリケーションプログラムは、通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立したと判定すると、前記ナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを再起動し、経路案内再開情報を該ナビゲーションのためのアプリケーションプログラムに引き継ぎ、経路案内を再開することを特徴とするナビゲーション装置。

【請求項１４】

ネットワークを介して接続される携帯端末装置と経路探索サーバとを備え、携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索システムにおいて、

前記携帯端末装置は、

ナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、前記経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、

前記アプリケーションプログラムを終了するための停止条件が成立するか否かの判定を行い、停止条件が成立する場合、前記携帯端末装置の前記アプリケーションプログラムを終了する停止判定手段と、

前記停止判定手段が前記停止条件の成立を判定すると、前記経路探索サーバに再開通知要求を送信する通知要求手段と、を備え、

前記経路探索サーバは、

前記携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を、前記経路案内の情報に基づいて算出する通知基準算出手段と、

前記再開通知要求を受信すると、前記通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立するか否かの判定を行う通知判定手段と、

前記再開条件が成立すると、案内再開通知を前記携帯端末装置に送信する再開通知手段と、を備え、

前記携帯端末装置は、前記案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開することを特徴とする経路探索システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１９】

前記課題を解決するために、本願の請求項１にかかる発明は、

ネットワークを介して接続される携帯端末装置と経路探索サーバとを備え、携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索システムにおいて、

前記携帯端末装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、

前記経路探索システムは、

前記アプリケーションプログラムを終了するための停止条件が成立するか否かの判定を行い、停止条件が成立する場合、前記携帯端末装置の前記アプリケーションプログラムを終了する停止判定手段と、

前記携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を、前記経路案内の情報に基づいて算出する通知基準算出手段と、

前記経路案内を再開させるための条件が成立したか否かの判定を行う通知判定手段と、

前記経路案内を再開させるための条件が成立すると、案内再開通知を前記携帯端末装置に送信する再開通知手段と、を備え、

前記携帯端末装置は、前記案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
また、本願の請求項１０にかかる発明は、
携帯端末装置とネットワークを介して接続され、携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索サーバにおいて、
前記携帯端末装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、該アプリケーションプログラムを終了するための停止判定手段と通知要求手段とを備え、前記停止判定手段が前記案内経路の情報に基づいて停止条件が成立したと判定した場合、前記通知要求手段は前記経路探索サーバに経路案内を再開するための経路案内再開情報を含む再開通知要求を送信し、前記経路探索サーバから受信した案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開する携帯端末装置であって、
前記経路探索サーバは、前記携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を算出する通知基準算出手段と通知判定手段と再開通知手段とを備え、
前記経路探索サーバは、前記携帯端末装置から再開通知要求を受信すると、前記通知基準算出手段は該当する携帯端末装置の案内経路の情報に基づいて通知基準を算出し、前記通知判定手段は、前記通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立したと判定すると、前記再開通知手段は、前記携帯端末装置にネットワークを介して経路案内再開情報を含む案内再開通知を送信することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
また、本願の請求項１１にかかる発明は、
携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索サーバにネットワークを介して接続される携帯端末装置において、
前記経路探索サーバは、通知判定手段と再開通知手段とを備え、前記携帯端末装置から再開通知要求を受信すると、前記通知判定手段は、通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立したと判定すると、前記再開通知手段は、前記携帯端末装置にネットワークを介して経路案内再開情報を含む案内再開通知を送信する経路探索サーバであって、
前記携帯端末装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、該アプリケーションプログラムを終了するための停止判定手段と通知要求手段と、携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を算出する通知基準算出手段と、を備え、
前記停止判定手段が前記案内経路の情報に基づいて停止条件が成立したと判定した場合、前記通知基準算出手段は該当する携帯端末装置の案内経路の情報に基づいて通知基準を算出し、前記通知要求手段は前記経路探索サーバに経路案内を再開するための経路案内再開情報を含む再開通知要求と、前記通知基準算出手段が算出した通知基準を送信し、前記経路探索サーバから受信した案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開することを特徴とする。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
また、本願の請求項１２にかかる発明は、
ネットワークを介して接続される携帯端末装置と経路探索サーバとを備え、携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索システムにおける省電力復帰方法において、
前記携帯端末装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、該アプリケーションプログラムを終了するための停止判定手段と通知要求手段とを備え、前記停止判定手段が前記案内経路の情報に基づいて停止条件が成立したと判定した場合、前記通知要求手段は前記経路探索サーバに経路案内を再開するための経路案内再開情報を含む再開通知要求を送信するステップと、前記経路探索サーバから受信した案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開するステップと、を有し、
前記経路探索システムは、前記携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を算出する通知基準算出手段を備え、前記通知基準算出手段は該当する携帯端末装置の案内経路の情報に基づいて通知基準を算出するステップを有し、
前記経路探索サーバは、通知判定手段と再開通知手段とを備え、前記携帯端末装置から再開通知要求を受信すると、前記通知判定手段は、前記通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立したと判定すると、前記再開通知手段は、前記携帯端末装置にネットワークを介して経路案内再開情報を含む案内再開通知を送信するステップを有することを特徴とする。
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５３】
また，本願の請求項１３にかかる発明は、
経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行うナビゲーション装置において、
前記ナビゲーション装置はナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行するナビゲーション装置であって、該アプリケーションプログラムを終了するための停止判定手段と通知要求手段と、経路案内を再開させるための通知基準を算出する通知基準算出手段と、を備え、
前記停止判定手段が前記案内経路の情報に基づいて停止条件が成立したと判定した場合

、前記通知基準算出手段は案内経路の情報に基づいて通知基準を算出し、前記通知要求手段は前記ナビゲーションのためのアプリケーションプログラムとは異なる、作動中の他のアプリケーションプログラムまたは作動させた他のアプリケーションプログラムに、経路案内を再開するための経路案内再開情報を含む再開通知要求を引き継ぎ、該他のアプリケーションプログラムは、通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立したと判定すると、前記ナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを再起動し、経路案内再開情報を該ナビゲーションのためのアプリケーションプログラムに引き継ぎ、経路案内を再開することを特徴とする。
【手続補正２９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６０】
ネットワークを介して接続される携帯端末装置と経路探索サーバとを備え、携帯端末装置が設定した経路探索条件を満たす経路を探索して経路案内を行う経路探索システムにおいて、
前記携帯端末装置は、
ナビゲーションのためのアプリケーションプログラムを起動して、前記経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、

前記アプリケーションプログラムを終了するための停止条件が成立するか否かの判定を行い、停止条件が成立する場合、前記携帯端末装置の前記アプリケーションプログラムを終了する停止判定手段と、
前記停止判定手段が前記停止条件の成立を判定すると、前記経路探索サーバに再開通知要求を送信する通知要求手段と、を備え、
前記経路探索サーバは、
前記携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を、前記経路案内の情報に基づいて算出する通知基準算出手段と、
前記再開通知要求を受信すると、前記通知基準算出手段により算出された通知基準に基づいて経路案内の再開条件が成立するか否かの判定を行う通知判定手段と、
前記再開条件が成立すると、案内再開通知を前記携帯端末装置に送信する再開通知手段と、を備え、
前記携帯端末装置は、前記案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開することを特徴とする。
【手続補正３６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６１】
請求項１にかかる発明においては、
携帯端末装置はアプリケーションプログラムを起動して、経路探索サーバが探索した案内経路の情報に基づいて経路案内を実行する携帯端末装置であって、経路探索システムは、
該アプリケーションプログラムを終了するための停止条件が成立するか否かの判定を行い、停止条件が成立する場合、前記携帯端末装置の前記アプリケーションプログラムを終了する停止判定手段と、前記携帯端末装置における経路案内を再開させるための通知基準を、前記経路案内の情報に基づいて算出する通知基準算出手段と、前記経路案内を再開させるための条件が成立したか否かの判定を行う通知判定手段と、前記経路案内を再開させるための条件が成立すると、案内再開通知を前記携帯端末装置に送信する再開通知手段と、を備え、前記携帯端末装置は、前記経路探索サーバから受信した案内再開通知に基づいてアプリケーションプログラムを再起動して経路案内を再開する。
【手続補正３７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７１】
請求項１０にかかる発明においては、請求項１ないし請求項９にかかる経路探索システムを構成する経路探索サーバを提供することができるようになり、請求項１１にかかる発明においては、請求項１ないし請求項９にかかる経路探索システムを構成する携帯端末装置を提供することができるようになる。
【手続補正３８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７２】
また、請求項１２にかかる発明においては、請求項１ないし請求項９にかかる経路探索システムにおける省電力復帰方法を提供することができるようになる。更に、請求項１３

にかかる発明においては、携帯端末装置やナビゲーション装置のみによってアプリケーションプログラムの終了、再開を制御することができるようになる。また、請求項１４にかかる発明においては、請求項１にかかる経路探索システムを携帯端末装置と経路探索サーバとから構成することができるようになる。